

- 令和7年6月2日(月)に、土岐川記念橋上流部の河川空間とまちづくりを一体的に活性化する取り組みを推進するため、本年度 第1回多治見市かわまちづくり協議会を開催しました。
- 事務局より昨年度の社会実験の報告、本年度の多治見市かわまちづくりの施工予定と、社会実験の予定について説明し、委員から意見を伺いました。
- 委員からは、社会実験を開催する際の広報に関する意見や、商業利用の場としての様々な利活用の提案がありました。

■概要

- ・ 日 程 : 令和7年6月2日(月) 14:00~16:00
- ・ 場 所 : パロー文化ホール 2階 大会議室
- ・ 内 容 : ①令和6年度 社会実験の報告について
②令和7年度の施工予定について
③令和7年度 社会実験(予定)について
- ・ 出席者 : 協議会委員14名、オブザーバー1名
- ・ 事務局 : 多治見市役所 道路河川課
商工観光課
庄内川河川事務所 流域治水課



かわまちづくり協議会 飯田委員長の挨拶



協議会の様子

■委員からの意見

(広報)

- ・ 多くの人に利用してもらえるよう、事前に多治見かわまちづくりのPRをしてほしい。
- ・ 社会実験のイベントにおいて媒体(SNS・広報誌等)による広報を行い、イベント後にアンケート調査等を実施することで、多治見かわまちづくりの認知が広がっているか確認してほしい。

(利活用)

- ・ 商業利用の場として、カヌーやボートによる川遊び体験やB級グルメなど出店してはどうか。
- ・ 近隣住民の日常利用や、トレッキングをしたい外国人の利用など、現在の需要を見据えながら社会実験を進めた方が良い。
- ・ 災害対応車(排水ポンプ車・照明車等)を使用したイベントも開催できるのではないかと。
- ・ 昔、虎溪用水が通っていたことを感じられるような工夫があると良い。
- ・ 子どもが参加できるイベントを開催したい。魚のつかみ取り体験などをやってみてはどうか。 など